

# 御意見・御要望を募集します

本件統合方針について、皆様からの御意見・御要望を募集致します。

お寄せいただいた御意見・御要望等を踏まえて、統合後の警察署の体制やこういった施設にするかなどについて検討を行っていきます。

統合方針に関する内容等は住民説明会の説明概要、良くあった質問を掲載していますので、御意見・御要望の参考としてください。

皆様からの御意見・御要望をお待ちしています。

## 1 募集期間

令和7年1月10日（金）から3月31日（月）

## 2 御意見・御要望の提出方法

### (1) メールによる投稿

県警ホームページにアクセスしていただき、「小鹿野警察署と秩父警察署の統合に関する意見・要望の募集」内のメールフォームから投稿いただけます。

### (2) 県警本部、各警察署（交番、駐在所を含む。）への申出 電話、文書でもお受けします。

県警ホームページへのアクセスは、こちらの二次元コードを御利用ください。



## お問い合わせ先（代表電話）

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| ・ 県警本部   | 0 4 8 - 8 3 2 - 0 1 1 0 |
| ・ 小鹿野警察署 | 0 4 9 4 - 7 5 - 0 1 1 0 |
| ・ 秩父警察署  | 0 4 9 4 - 2 4 - 0 1 1 0 |

# 小鹿野警察署と秩父警察署の統合方針

県警察では、警察官一人当たりの各種負担が全国上位であり、絶えず業務、体制等の見直しを行い、各種事件・事故などに対応しています。

このような状況の中で、県警察では警察署の体制を見直すこととし、令和10年度を目標に小鹿野警察署を秩父警察署へ統合する方針と致しました。



小鹿野警察署



秩父警察署

## ○ 小鹿野警察署が抱える課題

小鹿野警察署の体制は県内最小規模であり、刑法犯認知件数、人身事故発生件数、110番受理件数のいずれも県内警察署で最も少ない状況であります。

- ・ 特に夜間・休日の警察署体制が脆弱
  - ・ 庁舎の老朽化による建て替えの検討が必要
- 等といった課題があります。

## ○ 統合による効果

現状の事件・事故への初動対応を維持した上で、

- ・ 夜間・休日の脆弱な体制の解消
  - ・ 大規模、複数の事件・事故へ迅速に対応できる体制の構築
  - ・ 事案発生状況に応じた体制の柔軟な運用
  - ・ 管理部門のスリム化
- など、より効果的に事件・事故への対応が図られます。

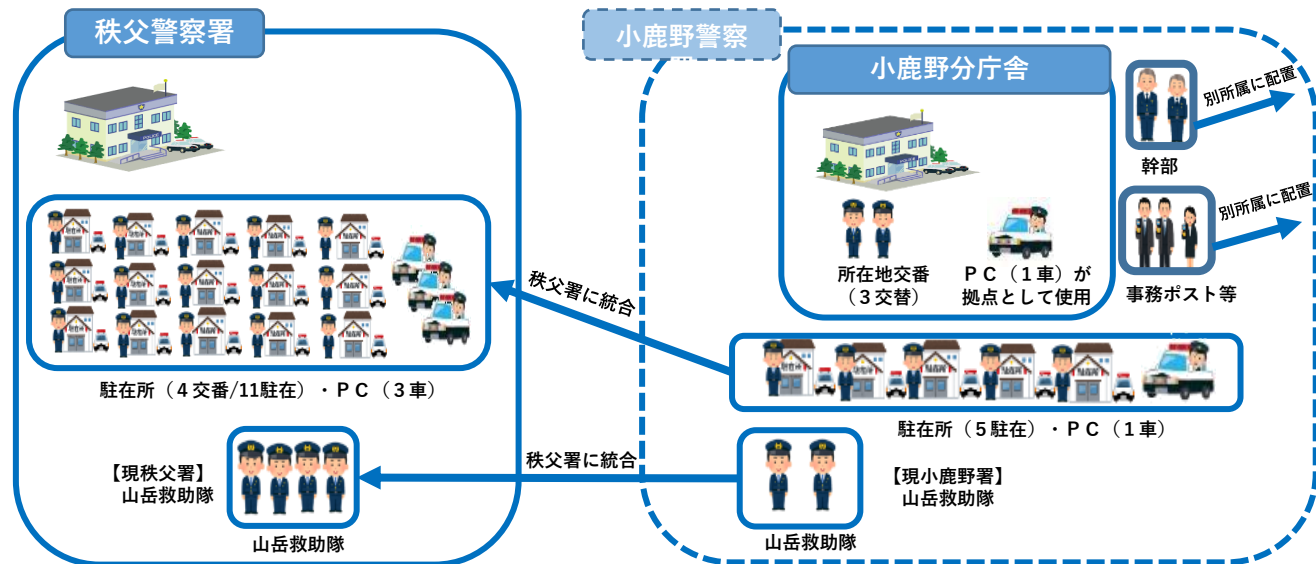
# ○ 統合方針

現時点の統合方針については

- ・ 小鹿野警察署の駐在所・パトカーは現状維持とし、警察機能を秩父警察署に統合する。
- ・ 小鹿野警察署は、分庁舎として残し、交番機能を整備する。
- ・ 分庁舎をパトカーの活動拠点とする。
- ・ 山岳救助隊の体制は現状維持とする。

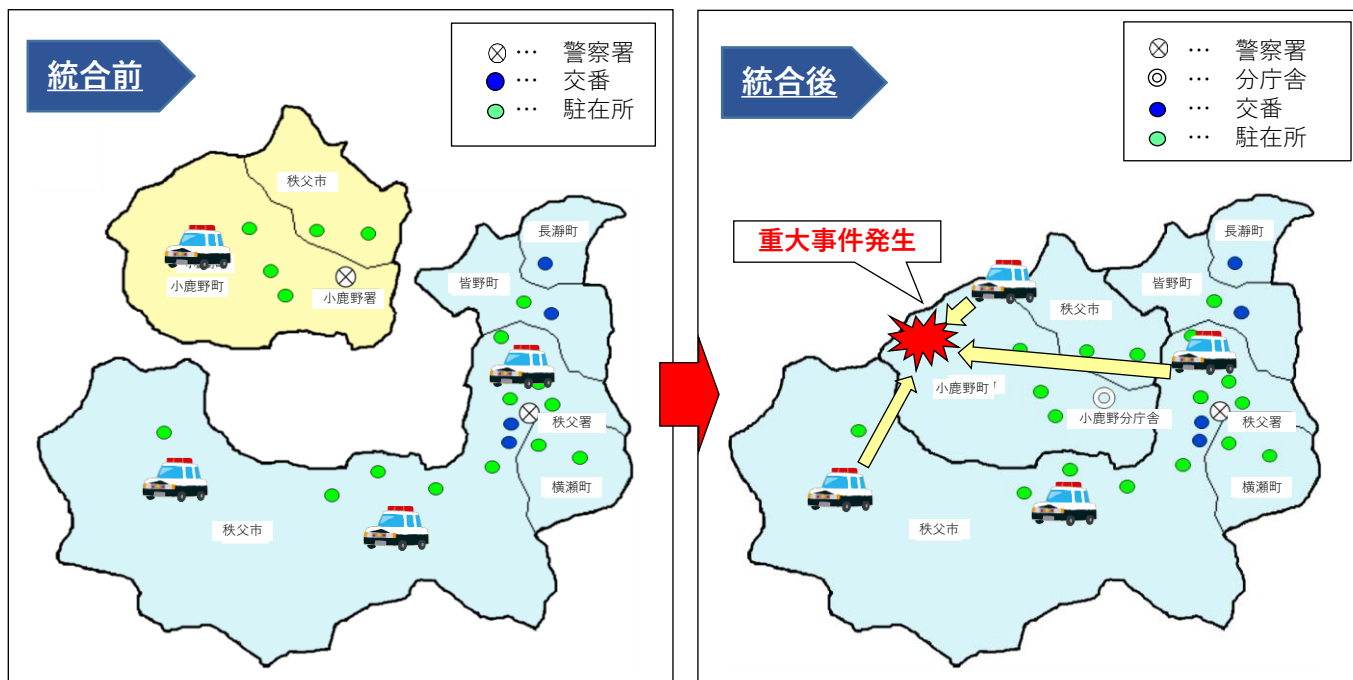
としています。

今後、皆様の御意見・御要望を踏まえて、分庁舎の体制、こういった施設にするかなどを検討していきます。



# ○ 統合のイメージ

既存の駐在所・パトカーの維持、分庁舎の活用等を図ることで、初動対応に支障は生じず、必要により複数の警察官の現場臨場が可能となります。



## 良くある質問

これまでにお受けした質問の中から良くある質問を掲載しました。



### 問1 統合のスケジュールを教えてください。

答 今後は、

令和6年度 住民説明会（統合方針の説明）、意見・要望の募集

令和7年度 意見・要望を踏まえた県警察内での検討（体制・施設機能）

令和8年度 住民説明会（検討結果の説明）

令和9年度 部内規程の整理、条例の改正

令和10年度 小鹿野警察署を秩父警察署へ統合  
することを予定しています。

### 問2 統合後の体制はどうなるのですか。

答 現在、決まっている方針は、小鹿野警察署の駐在所・パトカー・山岳救助隊の体制は残し、小鹿野警察署を分庁舎として、交番機能（24時間体制で制服警察官を配置）を置くほか、パトカーの活動拠点として活用するものです。

今後、皆様からの御意見・御要望等を踏まえて、統合後の警察署の体制やこういった施設にするかなどについて検討を行っていきます。

### 問3 現在、小鹿野警察署で行っている運転免許の更新は分庁舎でもできますか。

答 問2と同様に、皆様からの御意見・御要望等を踏まえて、今後、検討を行っていきます。

### 問4 管内面積が広くなると、事件や事故の現場に警察官がすぐに来れなかったり、パトロールの回数が減ってしまいませんか。

答 現在、小鹿野警察署管内で活動している駐在所とパトカーの勤務員は、今までどおり変わりません。

また、統合後の分庁舎にも交番機能を置き、引き続き、現場対応やパトロール活動に当たりますので、今までどおりの対応が可能となります。

統合によって、初動捜査体制は維持した上で、管理部門等の合理化を図り、捜査や交通取締活動等に従事する警察官を一つの警察署に集約することで、大規模、複数の事件・事故が発生した時には、これまでより大きな体制で活動することが可能となり、警察力の強化が図られます。

### 問5 管内面積が広くなると、山岳遭難への対応が遅れませんか。

答 山岳救助隊の体制は変わらないため、今までどおりの対応が可能です。

### 問6 今の小鹿野警察署の建物はどうなるのですか。

答 統合後も、引き続き今の庁舎を活用しますが、老朽化による建替え時期が来た時には、分庁舎の機能に合わせた大きさの庁舎に建て替える予定です。